

令和6年1月22日

管内の先生の実践から学ぶ

「わかる」「できる」「楽しい」授業づくり

あ！そうだ！発表動画を見直そう！

## 1. 困りは自分の発表動画で解決する



## ○先生「よかったね～撮っておいて」

これは、困りを抱えた児童が、自分の過去の発表動画を使って、問題を解決した際に先生がかけた言葉です。

サクランボ計算の仕方を思い出そうと撮りためた過去の発表動画を見直す児童。

単元の見通しを持った先生の工夫が素晴らしい取組だと感じました。

## 2. 自分の発表を客観的に振り返る



## ○先生「生徒になったつもりで聞いてみて」

- ① 先生になったつもりで説明をさせる。  
(下級生に教えるつもりで)
- ② 生徒になったつもりで自分の説明を振り返らせる。  
(視点：内容面、知識面、伝え方)

先生は、児童が何に注目して説明しているのか、明確な評価規準をもとに取組まれていました。

## 3. 中間指導に発表動画を役立てる



明確な目的を持って中間指導を行う先生の姿

## ○先生「どこがいいか探しながら見てみて」

- ① 明確な評価規準のもと、本時のねらいを達成してる児童をねらって撮影。
- ② 何が自分の発表と違うのか、視点を与えて気づかせる。
- ③ 何度もやり直すチャンスがある。

本時で「つけたい力」が明確だからこそ、できる「撮って出し」。ねらいに迫る中間指導の工夫が素晴らしい取組でした。

## まとめ

とある小学校の外国語の授業では、授業が始まる前に前時の自分の発表を見直していました。セルフレビューとでも呼びましょうか、この一工夫により、前時に学んだことを思い出させたり、意欲の喚起につなげたりしていました。自分の発表を録画し必要な場面で見直す。そんなシンプルで非常に効果的な活用も取り入れてみてはいかがでしょうか。

